

2008 年度 愛知大学後援会課外活動奨励賞授与式 愛知大学同窓会奨励賞授与式



日時 | 2009 年 3 月 7 日 (土) 11:30 ~ 12:30
場所 | 車道校舎 本館 3 階 コンベンションホール

プログラム

一、開式

一、愛知大学後援会課外活動奨励賞授与式

挨拶 愛知大学後援会会長 大島俊明
選考結果報告 学生部委員長 杏掛俊夫
奨励賞授与

一、愛知大学同窓会奨励賞授与式

挨拶 愛知大学同窓会会長 安井善宏
選考結果報告 同窓会広報委員長 加藤満憲
奨励賞授与

一、愛知大学学長激励の辞

愛知大学学長 佐藤元彦

一、受賞者代表謝辞

課外活動奨励賞受賞者代表
同窓会奨励賞受賞者代表

一、閉式

愛知大学後援会／愛知大学同窓会

●最優秀奨励賞

個人

おさき
小崎まさなり
昌業氏

1948年(昭和23年)旧制法経学部経済学科卒業



〈東亜同文書院と愛知大学の絆を強化〉

◆ 推薦趣旨 ◆

同窓会への参加と貢献について 現代中国学部で中国現地研究実習は、昨年で10回を重ねている。同氏は、現地大学でのフィールドワークの調査結果を発表する「日中学生シンポジウム」に全て参加し、応援団長として中国語による挨拶をし、父親のように暖かく現役学生を見守ってくれている。更に、「大学史」の講義も担当している。

また、2000年東京で実施した全国総会においても、「激動の20世紀を振り返って」一日本そして母校一の記念講演を行って頂くなど、同窓会において良き先輩として活動している。さらに、東亜同文書院と愛知大学との絆を強くする役割も担って頂いている。

◇ 略歴 ◇ 1922年 中国青島市生まれ/1946年 東亜同文書院大学卒(42期)/1948年 愛知大学法経学部経済科卒(第1期生)。外交官試験合格、外務省、通産省に勤務し、中華民国、インド、カナダ、シンガポール、ポーランド等を経てモンゴル特命全權大使、在ルーマニア特命全權大使等。/1987年 退官後、(財)霞山会常任理事、愛大監事を歴任。現在は(財)霞山会顧問、愛大名誉役員、東亜同文書院大学記念センター委員等に就く。

かがみ
加々美みつゆき
光行氏

愛知大学 現代中国学部教授

〈日中友好と学術交流・現代中国研究〉

◆ 推薦趣旨 ◆

第58回(平成17年)中日文化賞を受賞。同賞の副賞200万円を全額寄付して中国湖南省衡陽に「中日友好東昇小学校」を建設。現代中国研究と日中学術交流面への貢献。



◇ 略歴 ◇ 1944年 大阪生まれ/1967年 東京大学文学部卒業/1991年 法学部教授に就任/1997年 現代中国学部教授に就任/2002年 大学院中国研究科長就任/2002年 文部科学省「21世紀 COE プログラム」採択に伴い COE 拠点リーダー・ICCS 事業推進委員長就任

●優秀奨励賞

個人

かみお
上尾りゅうすけ
龍介氏

1949年(昭和24年)旧制大学予科卒業



〈愛知大学学生歌を作詞・歌いつがれる〉

◆ 推薦趣旨 ◆

やむなく弟さんの名前で応募された、「愛知大学学生歌」の作詞者。生涯、留学生教育に携わり、「九州大学留学生センター」設立に尽力され、初代センター長として数多くの功績を残され、日本の留学生分野の先達の一人としても著名である。

「一片の冰心—ある学徒兵の戦後」「留学生たちの日本」「現代西日本詩集」「君は耐えられるか」「夜明けの国の旅」など出版物も多数。

◇ 略歴 ◇ 1944年 東亜同文会北京興亜学院入学/1945年 北支派遣軍に入隊、敗戦後シベリアに抑留/1949年 愛知大学予科修了/1952年 愛知大学学生歌作詞/1953年 九州大学文学部中国文学科卒業/1990年 定年退職、九州大学名誉教授

やすもと
安本ひろし
博氏

愛知大学 文学部教授

〈硬式野球部・バレー部の部長で部の礎を築く〉

◆ 推薦趣旨 ◆

愛知大学文学部に着任されてから、学生教育や大学運営だけではなく、常に学生とのコミュニケーションを重点に置かれ、その取り組み姿勢に理想的な社会への縮図を見ることができます。課外活動にも大変な尽力を注がれ、本学の代表的な運動部でもある「硬式野球部・バレー部」の部長を長年に亘り努めていただき、温かな人柄の中にも文武両道の大切さを示唆し、低迷していた運動部員に愛情を注がれました。そのことにより、硬式野球部は36年ぶりの優勝、バレー部の連続優勝等への基礎を構築されました。また、今日ある三位一体(同窓会・後援会・本学)の基礎を推進され、密接な関係にもご尽力いただきました。

◇ 略歴 ◇ 1962年 大阪大学文学部卒業/1970年 大阪大学大学院文学研究科博士課程単位取得満期退学/1974年 愛知大学文学部に就任、男子・女子バレー部・硬式野球部部長を歴任、中国古代思想を専攻、文学部東洋哲学専攻講義担当

いちはし
一橋あやこ
綾子氏もりした
森下 明里氏 | 文学部人文社会学科 4年次生

〈愛知大学応援団リーダー・副団長に〉

◆ 推薦趣旨 ◆

2人に会ったのは、彼女達にとって初めてリーダー公開の時でした。まだあどけなさが残っている彼女達が男子学生に混じり学生服に身を包み壇上に立った姿は、とても印象深いものでした。マネージャーとして入団した彼女達ですが、同期入団の男子学生が1名であり、団を支える為2人して団員に転向しました。歴史ある応援団の中で女性がどの様に活動していくのだろうかと期待する反面、一抹の不安もありました。しかし、彼女達は、年々すばらしい成長を遂げ、4年生では副団長となり、ますます手腕を発揮し、多くの後輩の指導にあたり、信頼を大とした様です。歴史ある愛知大学応援団と云えども女性の活躍は初めてであり、況して副団長という大役を無事果たしたと云うことは歴史に残るものと思います。

◇ 略歴 ◇ 2005年 愛知大学文学部人文社会学科入学

いちはしあやこ
一橋綾子氏もりしたあかり
森下明里氏

●奨励賞

個人

まるやま ゆういちろう
丸山 祐一郎氏 | 1971年(昭和46年)入学 推薦校友



〈民族楽器で水の大使として活躍のギタリスト〉

◆ 推薦趣旨 ◆

85年サンバギタリストとして活躍中に本場ブラジルを訪れビリンバウに出会う。幻妙なビリンバウの音に聞き入り独自の奏法を工夫し音の魅力を伝えたいという思いからソロ奏者に。民族楽器40種類（身近な物で創作した自前の楽器等）を四駆に詰め込み全国各地でコンサート活動が続いている旅の音楽家。音楽を通して子供たちと交流。音楽を通して環境問題を提起。水の大切さを伝える。外国（ブラジル）では水の大使の異名を持つ。

◇ 略歴 ◇ 1971年 愛知大学法経学部法学科入学／1985年 BRASIL に渡り Berimbau に出会う、旅の音楽家として全国コンサート活動／2003年 イタリア短編映画祭カバリビオにて演奏／2004年 ウラジオストック国際映画祭受賞式にて演奏／2008年 シベリア鉄道レインボープロジェクト 日本から11人のメンバーで平和の虹を届けに…モスクワ・ウラジオストックにて演奏

こんどう けいすけ
近藤 啓介氏 | 2002年(平成14年)経営学部卒業



〈努力の末にプロゴルファーに〉

◆ 推薦趣旨 ◆

愛大ゴルフ部 OB として今年度2008年の男子プロテストに合格し、卒業生として3人目のプロゴルファーの誕生です。近藤啓介君は平成10年にスポーツ推薦ではなく一般入試で入学し、4年間ゴルフ部に所属し、平成14年に卒業。南山 CC に就職し日々努力をつづけ、7年目の今年、見事にプロテストに合格しました。

◇ 略歴 ◇ 1998年 愛知大学経営学部入学／2002年 愛知大学経営学部卒業／2002年 株式会社南山カントリークラブ入社／2008年 資格認定プロテスト合格

むらた ゆきこ
村田 祐貴子氏 | 文学部人文社会学科 4年次生



〈学生馬術競技に中部代表で出場〉

◆ 推薦趣旨 ◆

平成20年6月16日から行われた第43回中部学生白馬競技大会において、中部地区（9県）15大学の代表として10月31日～11月4日に東京都世田谷区の JRA 馬事公苑にて行われた第58回全日本学生賞典障害飛越競技大会へと駒を進めた。

例年類を見ない程難度の高いコースに惜しくも失権したもの、女性ながらに堂々とした騎乗を見せ、後輩達への良い目標を示した。また、今後の馬術部の可能性を拓いてくれた素晴らしい功績を立てた。

◇ 略歴 ◇ 2005年 愛知大学文学部人文社会学科入学

なつめ ひろたか
夏目 博崇氏 | 国際コミュニケーション学部比較文化学科 3年次生



〈数々の学生弓道選手権大会で成果〉

◆ 推薦趣旨 ◆

平成20年度の成績

1. 第41回 愛知県下学生弓道選手権大会 男子団体優勝
2. 第56回 全日本学生弓道選手権大会 男子団体ベスト8
3. 第52回 東海学生弓道秋季リーグ戦 男子一部団体準優勝（愛知、三重、岐阜、静岡）（6部31校）

◇ 略歴 ◇ 2006年 愛知大学国際コミュニケーション学部比較文化学科入学

●優秀奨励賞

団体

あいちだいがくほうがくぶもぎさいばん
愛知大学法学部模擬裁判プロジェクトチーム 代表：こはら ゆうだい
こはら ゆうだい
代表：小原 雄大



〈模擬裁判を毎年開催し市民を啓発〉

◆ 推薦趣旨 ◆

愛知大学法学部は、2008年12月13日（土）に車道校舎で市民を対象とした模擬裁判を開催した。これは、2009年5月にスタートする裁判員制度を市民の方々により深く理解していただくことを目的として2005年度から開催しているもので、今回が4回目である。模擬裁判を企画・運営したのは、「法律学特殊講義」（担当：広瀬裕樹准教授）の受講生を中心とした模擬裁判プロジェクトチーム（3～4年生約50人）である。当日は300名弱の参加があり、市民・社会からの関心の高さを示した。

今回は「裁判員制度について市民の皆様理解を深めていただく」をテーマに、第1部で裁判員選任の流れを劇で上演、第2部で裁判員制度を想定した模擬裁判を実演した。模擬裁判で扱った事件は、大学受験に失敗した若者が以前から生活騒音に悩まされてきた隣人の腹部を包丁で刺してしまうというもので、若者の殺意が認定できるかが争点となるものであった。検察官、弁護士、被告人、証人は本学学生が演じ、公募で集まった6人の裁判員役と、本学法学部の学生3人の裁判官役が評議し判決を下した。模擬裁判の準備には今年の4月から実に8ヶ月を費やした。裁判員制度の勉強から始め、事件のシナリオづくりを行い、秋からは模擬裁判のリハーサルを続け改善を重ねてきた。

この模擬裁判の試みの特色は、「学生主体の企画・運営」と「地域貢献」とにある。すなわち、学生が主体となって企画・運営し、その成果を広く一般公開して地域社会への貢献をも試みたものである。それは、法学部教育と大学の地域貢献とをドッキングさせた、愛知大学法学部ならではの特色ある模擬裁判であり、一般の方々の裁判への関心を高めた。

●奨励賞

団 体

けい えい がく ぶ けい えい が っ か た な か ひ で の り

経営学部経営学科田中英式ゼミ

こじま あずさ

小島 梓

つかもと まほ

塚本 真歩

ながい しんや

永井 慎哉

よこやま ひろき

横山 弘樹

はぎわら やすひさ

萩原 慈久



《新事業提案コンテストで受賞》

◆ 推薦趣旨 ◆

愛知大学経営学部経営学科の田中英式准教授のゼミに所属する5名が日刊工業新聞社名古屋支社の主催する「学生による新事業の提案コンテスト 2008キャンパスベンチャーグランプリ」のニュービジネス部門において、「ケイタク」をテーマで応募総数74件の中からCVG 中部ビジネス大賞を受賞しました。21世紀は「知価社会」の到来と言われ、産業界においても「知恵と創造性の発揮」が求められています。大学が有する知的財産を産業に生かすため「大学発ベンチャー」も活発に展開されています。そうした時代のニーズに即して、新鮮な発想、ユニークなアイデア、独創的な技術、情熱あふれる若者の挑戦に期待して、学生によるベンチャービジネスのアイデア・事業プランを競い合う場を設けました。キャンパスベンチャーグランプリは、新事業の提案コンテストを通じて、日本の次代を担う若者の人材育成と新産業の創造を目的としています。起業家精神を養い、問題・課題解決型の人材を育成する教育事業プロジェクトとして位置づけています。CVG 中部の応募は、愛知県、岐阜県、三重県、石川県、富山県の5県から多数の応募があり、その中から、グランプリに選ばれました。

●資格試験奨励賞

新司法試験



岸 天聖

2007年大学院法務研究科修了



宮本 大祐

2007年大学院法務研究科修了



山田 裕子

2007年大学院法務研究科修了



石井 雄介

2008年大学院法務研究科修了



遠藤 靖典

2008年大学院法務研究科修了



奥田 綾一

2008年大学院法務研究科修了



下村 高之

2008年大学院法務研究科修了



高橋 博志

2008年大学院法務研究科修了



堤 由江

2008年大学院法務研究科修了



中西 悠

2008年大学院法務研究科修了



服部 充裕

2008年大学院法務研究科修了



春名 潤也

2008年大学院法務研究科修了



東端 克博

2008年大学院法務研究科修了



藤井 裕子

2008年大学院法務研究科修了



南阪本 浩章

2008年大学院法務研究科修了



村松 将太

2008年大学院法務研究科修了

税理士試験



高井 正樹

2008年大学院会計研究科修了



山下 武彦

2008年大学院会計研究科修了

公認会計士試験



青山 知代

2006年経営学部経営学科卒業



伊藤 完英

2006年経営学部経営学科卒業



岡田 晃平

2007年経営学部経営学科卒業



小林 絵美

2008年大学院会計研究科修了



矢崎 光洋

2008年大学院会計研究科修了



北島 康登

2009年大学院会計研究科修了予定

愛知大学同窓会奨励賞授与取扱要領

目的

この取扱要領は、本会会員（滬友会、推薦校友を含む。）並びに愛知大学関係者（教職員、在学生等）が社会・文化・学術・芸術・スポーツ等の分野に於いて活躍し、または、これらの分野で活躍することが期待される個人又は団体に対し、愛知大学同窓会（以下「同窓会」という。）が「同窓会奨励賞」を授与するために定める。

表彰

表彰は、会員から推薦または申請のあった個人及び団体に対し、選考の結果、個人にあっては表彰状並びに副賞（記念品）、団体にあっては表彰状並びに副賞（奨励金）を授与する。

推薦

候補者の推薦（自薦を含む。）は、毎年12月20日までに社会・文化・学術・芸術・スポーツ等の分野で活躍のあった個人又は団体について、活躍の内容をまとめた推薦書（800字程度）を同窓会会長宛に提出する。ただし、叙勲及び功労賞等の受賞者は対象から除くものとする。

申請

資格試験奨励賞は、毎年12月20日までに、会員から同窓会会長宛に申請書および合格したことを証明する書類（写し）を提出する。

選考

会員から推薦のあった個人及び団体について、同窓会広報委員会で選考し、同窓会常任理事会で決定する。

表彰の種類

表彰の種類は、個人、団体とも次のとおりとする。

A 最優秀奨励賞（全国レベルでの活躍）

個人…記念品 10万円相当 団体…奨励金 10万円

B 優秀奨励賞（地域レベルでの活躍）

個人…記念品 5万円相当 団体…奨励金 5万円

C 奨励賞（一般的な活躍）

個人…記念品 3万円相当 団体…奨励金 3万円

D 資格試験奨励賞

愛知大学（大学院、学部、短大）に在学中又は卒業後3年以内の者で以下の試験に合格した者。

【対象資格試験】

1 司法試験（最終合格） 2 公認会計士試験 3 弁理士試験 4 国家公務員第Ⅰ種試験 5 司法書士試験 6 税理士試験

個人…記念品3万円相当

附則（制定）

この取扱要領は、2003年1月18日から施行する。

この改正取扱要領は、2006年5月13日より施行する。